

神奈川大学生涯学習 エクステンション講座【2019 年後期】

2019 年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 <講義録 5 限目>

本講座は神奈川大学と「防災塾・た`るま」が`共同で`企画し、提供するもので`す。

<講座のメインテーマ> 防災・減災の取り組み その具体的な進め方!

◆開催月日: 2019 年 11 月 14 日(木) 13:30~17:00 ◆開催場所: KU ホ`ートスクエア

記録: 鷲山龍太郎

第一部 横浜市の災害対策について 講師 横浜市危機管理室 地域防災課 時枝道太係長

1 過去の大地震 甚大な被害 都市型の地震としては、阪神淡路大震災 人的被害、火災被害、住家被害の甚大さは横浜への警鐘

2 横浜の被害想定 市内最大震度 7 元禄型関東地震で、全半壊 1 4 万棟 焼失 7 万七千棟の想定家具の転倒防止

3 横浜市の自助・共助・公助の取り組み 火災対策 地域防災の必要

- ・感震ブレーカーの設置補助の推進
- ・初期消火箱の設置補助
- ・防災減災推進研修 ・防災資機材取り扱いリーダー講習会 ・家庭防災員研修
- ・地域に防災知識を広める取り組み 学校などで
- ・横浜市防災センターのリニューアル

4 水害対策の基礎知識

- ・豪雨災害の防災情報との流れ、避難勧告などの正しい理解の普及
- ・横浜市では、緊急メール、ツイッター、HP などで情報発信を行っている。

(感想) 横浜市は、災害の教訓を活かして様々な行政としての取り組みを進めている。若手の時枝係長はじめ、横浜市職員の皆さんが熱心に推進していることがわかった。公助の努力に対して、自助、共助の公助を理解し、公助が時間的、物理的に及ばない災害直後の対応力をアップしていきたい。

第二部 平塚市 崇善地区 総合防災訓練 地域みんなで工夫した時系列に沿った地震対応訓練

講師 平塚市崇善地区防災部会副会長

1 訓練の見直し 高齢化、参加者減少、若い人が来ない、マンネリ感が課題

2 2017 年 11 月 12 日の訓練を大幅改善した。

3 A3 一枚の訓練計画を作成 すべての動きが時系列でわかるようにした、。

4 避難場所→避難所→避難所開設→発表・講評の流れで実施 16 町会参加
平塚市総合防災訓練 地域編・避難所編モデル地区に!

5 2018 年の取り組み 総合編、地域編、避難所編の三部構成

- ・資料の改善と共有化 訓練計画、避難所配置図、被害報告書、参加者名簿などの形式整理
- ・参加者の感想として「実戦的に避難所の開設と運営を体験できてよかった」

6 演者のまとめ 「防災に正解はない」といわれますが、学ぶこと、訓練を重ねることが大切だと思います。

(感想) 平塚市は、市民も行政も努力して市民の防災意識も高いが、地域防災の活性化には他地域と同様の悩みがある中、防災担当として、全体の動きを総合的に見通した 1 枚マニュアルを作成、組織と動きの共有が進んでいるのは参加になる。16 の自治会での動きから、避難所運営訓練につなげる取り組みも、参考になる。ぜひ各地域で取り組んでほしい。自治会での初期対応訓練をより実戦的にしていくことは、どの地域でも課題と思う。

